

# 傍聴席

## 議会傍聴の大切さを実感

渡邊 吉紀(角館町)

今回私は初めて、市議会を生で傍聴いたしました。

市議会の内容として市の不正問題や、福利厚生の面が多く取り上げられていました。市議会議員の方たちからは市民の意見を反映させ、仙北市をより良い市にするという思いが伝わるものでした。また市長を始めとする市職員も、冷静と情熱の間で、市としての見解を述べている姿が印象的でした。どちらの立場でも仙北市の未来を見据えたもので、仙北市民としての思いが強く伝わってきました。

今までは議会が終わった後に、どのような話がされたのか知ることができませんでした。今回私は生で見ることができ、とても参考になりました。今後の人生においても大きな収穫になりました。

## 住民の付託に応える議会を

武藤 耕三  
(西木町松木内)

町村合併以来数年になりますが、合併の意義として、スケールメリット、住民サービスの向上等、合併に依って良い事だらけのように言って合併が促進されました。

しかし、私、人丈けなのか、どうも、今の体制は住民がツンボ状態に置かれていてのではないかと思われてなりません。

その要因は、議会と執行機関との抑圧均衡の原理にたつた、正々堂々と是は是、非は非としての議会運営がなされていない。絵に画いた餅のように思われてなりません。

地方自治体は、教育、産業、福祉等すべてについて、財源あつての原則であることを肝に銘じて、住民から「市長も職員も議員も良く頑張ってくれている。有り難い」と言われるよう切磋琢磨して、住民の付託に応えることを強く望みます。

## 市民の声を大切に

高橋 良典  
(天仙市中仙)

今度、合併後に採用された若手職員が研修として、市議会定例会の一般質問を傍聴いたしました。今回の議会傍聴を通して、市民の多種多様な行政への要望があることを確認しました。私たち若手職員は日々、各々の部署や目の前の仕事の中に集中し、仙北市全体の課題を見失いがちであると感じました。市全体の利益を考え、少しでも多くの市民の声を行政に反映させたいと思います。

ただ、時代の変化によって、市役所内にゆとりがありません。しかし、住民にとつて最も身近な行政は市役所です。私たち若手職員は、毎日の業務の中で、仙北市の課題を踏まえつつ、自らの業務を改善し、自分の能力を高めるよう努めたいと思います。その成果として、市民の納得できる行政サービスを提供したいと思いました。

## もつと活発な論戦を

田村 貞良  
(田沢湖生保内)

私は度々、一般質問を傍聴しております。

市民と共に痛身を共有すると言う事で、議員定数を削減し、議員報酬を引き下げ、財源再建に当たると聞いていますが、日常生活に支障がないか、なぜならば、質問日程があるというのに、質問者が少ないという事は理解できません。しかし、議会運営委員会のルールに基づいた事項であると思えます。

議会論戦で、相手方に気遣うような点が見られますが、市民代表である以上感情に走らずに、堂々と論戦をすべきです。

議員を取り巻く環境も厳しい状況にあると理解します。誠心誠意をもって事に当たっている姿に感謝しております。

なお一層の活躍に期待をしている市民の一人です。

## 市民の目線を忘れずに

岩澤 昭夫(角館町)

急速に迫り来る当市の超高齢化に対して、医療、福祉に対しての適応への不安、そして驚くべき早さで進行する少子化という深刻な問題、高齢化にともない、当然のことながら、福祉等にかかる費用を益々嵩むのは明白です。かかる莫大な費用負担を、福祉等にかかる費用を益々嵩むのは明白です。かかる莫大な費用負担を、福祉等にかかる費用を益々嵩むのは明白です。

これからの費用をどうするか、少子化世代に全てを背負わせて良いのか、考えさせられました。これからその費用を国や県に対して負担してくれというのはいかがなものか、在宅介護で昔の日本人のあるべき姿に戻ることが健全であると思えます。他人のことを思いやるのがパブリック社会性の基本ではないかと考えさせられました。

市は予算がない、前例がない、規制があるという決まり文句でなく、市民の目線を忘れずに地域の為市民の為に仕事をして下さい。

## 編集後記

「冬来たりなば春遠からじ」という言葉どおりにはいかなない遅い春だった。

この議会だよりを皆さんにお届けする頃は待ちわびた桜もやっと開花する頃だろうと思う。

それにしても昨年は、東日本大震災に始まり、集中豪雨、大雪、大風と自然災害に見舞われた大変な1年だった。

一方、議会も引き続き税の不正還付金問題、バイオマス、病院改築等が山積みしている。

こうした案件に議会広報委員会は議会の内容を出来るだけ正確に伝えようと努力してきたつもりである。

この号で前期2年の広報委員会のメンバーは、後期メンバーと交代するが、この2年間広報に対する市民からのアドバイスを本当に感謝したい。

(狐崎捷琅 記)

## 人事案件

任期満了に伴う人権擁護員に次の2名を全会一致で同意した。

竹田幸博氏(生保内)

門脇主彦氏(上松木内)